

1 関係者評価委員の評価より

- ・関係者評価の平均は3.791であった。概ね良好であることがうかがえる。
- ・評価項目で関係者評価委員が5人とも「4」と高評価いただいた項目は10項目あった。今後もこれらの取り組みを継続していく。
- ・関係者評価委員が1人でも「3」とした項目は13項目あった。特に、「保護者との連携」は昨年度からの課題としており、保護者アンケートではわずかながら数値が上向いていたが十分とは言えない。加えて、「情報の伝達・公開」については課題を明確にした上で具体的な改善策を探り、全職員で改善に努めていきたい。

2 関係者評価委員からの意見

(1) 園内参観の気づき

- ・保育室内でも遊びが分かれていて、友達と教え合ったり、助け合ったりしている様子が見られた。遊びが変化していく様子が見えるクラスもあった。セロテープの貼り方や箱の組み合わせ方を子どもたちが考えている様子が見られた。
- ・子どもたちがやらされることなく、自分でカリキュラムを作って遊んでいる。
- ・11月の園内参観から今日の様子を見ると、子どもたちの遊びに取り組む成長を感じた。発達に沿う遊びがなされていた。
- ・自分の遊びが、探求する遊びへ発展するよう保育者のしかけが欲しい。
- ・言葉やフレーズがつかない子どもには保育者が意図的対話を心がける。

(2) 学校評価について

- ・「情報の伝達・公開」に関して、教職員の数値は昨年度を上回っているのに対して、保護者の数値が下回っていることについては、教職員は努力をしている実感があるからだと思うが、多忙な保護者の関心をどのようにして高めるかが課題と言える。保護者にいかに本園のよさを理解してもらうか、子どもたちの遊びや育ちをどのように伝えていくか、担任と保護者が接する機会を工夫するなど期待する。
- ・保育の質向上をめざした研究保育や園内外での研修について保護者の理解を得るのは難しいと思われる。だが、今年度の保育参観時に配布した資料のような成長のプロセスが分かる場面を大きくして掲示するなど工夫を試みるとよい。
- ・未就園児とその保護者の交流の場として行っている子育て支援事業このサロンについては、在園児の保護者にももっとアピールすることを望む。

3 関係者評価委員会による評価を終えて

- ・保護者アンケートの回収率が昨年度より6.4%増で93.2%となった。今後も保護者の方に園の様子を理解していただけるよう手立てを継続していきたい。
- ・関係者評価委員の方々には、11月と2月に園内参観をしていただいたことで、園児の成長を確認するとともに、次の目標への示唆もいただいた。
- ・自己評価で述べた通り、アンケートの数値は昨年度と大きな差はなく、本園の保育及び運営について一定の評価をいただいていることを確認できた。課題としている「情報の伝達・公開」については、保護者に分かりやすく情報提供をするために、いつ、どこで、どんな情報を提供しているのかを、保護者の方が把握できるような広報活動をまず進めていくことで、保護者に確実に伝わるようにしていきたい。